

# 横小だより

新潟市立  
横越小学校発行  
R3・11・12  
臨時号



Eメール e407yokogoshi@city-niigata.ed.jp

URL <http://www.e407yokogoshi.city-niigata.ed.jp/>

《シリーズ》

第5回



## Yokogoshi

校長

戸田道治

今日はこのシリーズのモチーフに使っている横雲橋についてです。

現在の横雲橋は、5代目であることはご存じでしたか？

そして(ナント!), 明治8年に完成した初代の横雲橋は、萬代橋より11年も歴史が古いことはご存じでしたか？

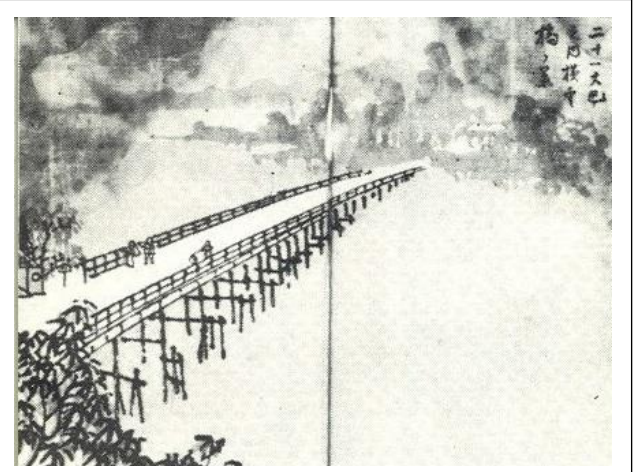
初代横雲橋こそ、大河に架かった最初の橋で、他から見物や視察が大変多く、「さすが横越」と世間の評判になったそうです。

昔から、ここは経済や文化交流のために行き交う船が多く事故も多かったとか。人命の尊さを考えたらどんなに費用がかかっても橋を架けようと、旧横越村の有志10数名が出資し合って「就安社」という会社を結成して実現したそうです。

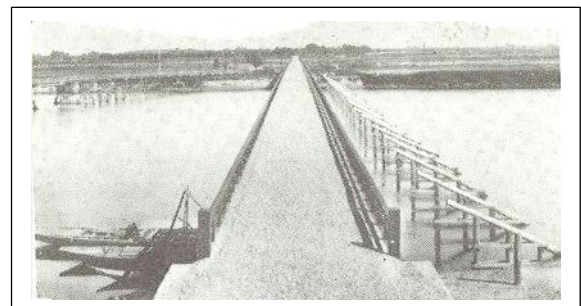
その後は洪水等により何度も橋が壊れては架け替えられ、現在の横雲橋にたどり着くことになります。

5代目となる現在の横雲橋も、当時の最先端の工法が用いられ、その巨大さと頑丈さにより、人々は「永久横雲橋」と呼んだそうです。

おそらく、この橋を望んだのは横越の人だけではありません。当然、橋の向こう側の人々も、または遠く離れた所から来て利用する人々も、皆が喜んでに違いないと思います。そのために先陣を切って動いた横越の先人たちの行動力には、ただただ頭が下がります。



明治8年 初代横雲橋図  
まるで歌川広重の東海道五十三次を思わせる



大正14年 3代目 横雲橋



昭和41年の写真  
左が現在の5代目 右は4代目の横雲橋